

【会議議事録】

会 議 名	第3回翻訳・翻訳チェック実施及び翻訳データベース作成業務委託 事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成31年2月18日（月）午前9時から午前10時10分まで
開 催 場 所	港区役所3階 産業・地域振興支援部会議室
委 員 員	<出席者> 5名 星川 邦昭委員長、大久保 明子副委員長、橋本 誠委員、 大澤 鉄也委員、長谷部 美佳委員 <欠席者> なし
事 務 局	産業・地域振興支援部地域振興課国際化推進係 市橋
会 議 次 第	1 二次審査（プレゼンテーション・質疑応答）について 2 選考結果について 3 その他
配 付 資 料	資 料 1 翻訳・翻訳チェック実施及び翻訳データベース作成業務委託 事業候補者選考二次審査について（案） 資 料 2 翻訳・翻訳チェック実施及び翻訳データベース作成業務委託 事業候補者二次審査採点表 参考資料1 翻訳・翻訳チェック実施及び翻訳データベース作成業務委託 事業候補者選考 一次審査結果 参考資料2 第2回翻訳・翻訳チェック実施及び翻訳データベース作成業務委託 事業候補者選考委員会議事録

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	開会
	1 二次審査（プレゼンテーション・質疑応答）について （事業者Aによるプレゼンテーション、詳細省略）
委員長	15分の質疑応答に入ります。各委員から質問がありましたらお願いします。
B委員	人材について、適材適所で精通している方を配置していると感じましたが、現在活躍されている社員の育成については、提案書から読み取れなかったため、どのように行っているか説明してください。
事業者A	弊社では、まず日本語能力試験一級を取得している外国人を選定しており、出身大学も非常に厳選しています。難易度の低いものから、非常に難しい大事な翻訳も受注していますので、入社したらまず先輩社員の隣に座り、難易度の低いものから始め、先輩社員が管理しながら、徐々に難易度をあげていきます。小さな会社ではありますが、20年以上在籍している従業員もいるので、時間をかけて人を育てています。
B委員	提示できる人材育成のプランはありますか。
事業者A	策定されたプランではありませんが、今までの積み重ねにより、方法は確立されています。
C委員	時差を使った提案について、海外の拠点や人数など、どのような体制か説明してください。
事業者A	弊社の強みの一つに、これまで外国人の社員を多く抱えてきて、元従業員だけで100人以上の翻訳者が世界中にいます。顧客が重要視する情報漏えい等をきちんと理解している人が100人以上います。
C委員	一緒に働いた経験のある人が、多くいるということですね。
D委員	フェイストゥフェイスでコミュニケーションをとるということですが、委託先でお仕事をする人と、週1回はコミュニケーションの場を持つというような、具体的な心がけはありますか。
事業者A	問い合わせをいただいたら、なるべく訪問させていただくようにはしています。また定期的に、案件の内容にもよりますが、基本的にコミュニケーションはとっています。区役所の仕組みとして、色々な部署を異動して実績を積み重ねられている方が非常に多く、初めて翻訳を依頼するという場合もあるので、最初の時は特に丁寧な説明をしています。
D委員	様々な課があり、当然翻訳に慣れている課もあれば、初めてという課もありますが、様々な課の情報を蓄積して、「以前こういう事があった」という提案もやっているということですか。
事業者A	そのとおりです。
A委員	今回提出いただいた提案書の課題のうち、ハングルについて、ネイティブが実際に見ているとは思いたいというコメントが採点者からありました。今回、ハングルの課題についてどのような体制で提出されたのかと、そういったコメントが出ていることに対してどのようにお考えかを、聞かせてください。

事業者A	<p>ハングルも、中国語や英語と同じように、まずネイティブが翻訳とチェックを行い、その後社内韓国人が再チェックしています。しかし、今回は不足があったとのことなので、担当者にもう一度確認し、改善したいと思います。このような指摘はもう何度も言われてきましたが、言葉と社会は非常に密に繋がっていますので、様々な慣習や考え方が働くことがあります。もちろんネイティブが複数チェックしていますし、その体制に問題ないと思っていますが、お客様から今回のようなご指摘をいただくことは非常にありがたいです。雇用しているネイティブ人員の慣習や考え方が少し古くなった、改善しなければいけないという指摘材料になります。もし100%ご満足いただけないのであれば、検証する必要があると思います。</p>
A委員	<p>言い回しなどが時代とともに変わっていくことは理解できますが、今回の評価は、文法など基本的なところでネイティブには見えないというもので、それに関してはいかがですか。</p>
事業者A	<p>課題を評価した方を全く存じあげませんが、そのようなことを言われる人と直接話してみると、その人の習慣、偏見、少し硬い考え方が働いているケースが多いです。当然お客様が満足されなければ、謙虚に意見を聞きますし、その方が基準を決定する方であれば、その方に合う形で体制を変更します。しかし、評価イコールネガティブな評価をつけることと理解し、必ず良くない部分を見つけなければいけないと勘違いする方が多くいるような気がします。今回は、100%ネイティブのハングルスピーカーがやったにことに違いありません。100%自信を持っています。今回は我々が改善努力をして、その方の基準に合わせる必要があると思います。</p>
委員長	<p>情報セキュリティについて、どのような仕組みを取っているか改めて簡単に説明してください。またセキュリティに関して、特に気をつけていることをお話してください。</p>
事業者A	<p>弊社はセキュリティについて、非常に重要視しています。総理大臣官邸の仕事、宮内庁の仕事、サミットの仕事に弊社の編集者を同行させるといった経験が30年ほどあります。そのため、情報が大事だということは非常によく理解しています。弊社の関係者全員とも機密保持契約を結びます。情報のやりとりについては、全ての情報に暗号をかけて欲しいという顧客もいれば、それはかえって手間がかかるのでそれはしないで欲しいという顧客もいます。我々は必要に応じてその顧客の希望に合わせます。もちろん、データはすべて弊社の保守の中で交換されます。また、場合によっては「非常に重要な資料なので、作業する人員を派遣してくれ」という依頼もあり、翻訳者を現場に派遣することもあります。我々はかなりトップレベルのセキュリティに対応しているつもりです。</p>
委員長	<p>セキュリティ環境について、年に何回見直しているとか、あるいは外部の目を入れるなどの仕組みはありますか。</p>
事業者A	<p>弊社は10年以上働いているITシステムマネージャーがおり、弊社が提携しているセキュリティシステムや、クラウド型セキュリティを研究する勉強会、協議会に月に1回程度出席し、そこで意見交換をしたり、世界トップレベルのセキュリティについて研究しています。</p>
委員長	<p>2 選考結果について 事務局から、集計結果をお願いします。</p>
事務局	<p>事業者Aの一次審査と二次審査の合計は1050点です。満点が1550点なので、6割のラインは930点、7割のラインは1085点です。</p>

委員長	各委員から、全体的な講評をお願いいたします。
B委員	人材育成のプランについて、優秀な社員を採用しているものの、そこからさらにレベルアップということはあまり取り組んでいないように感じられました。しかし、こういった業務を専門に長期間従事しているので、この事業者で問題ないと思います。
C委員	経営者はしっかりしている感じを受けました。時差をどのように利用するかということについて、働いたことのある元従業員が国に戻ってまた手伝っているということで、単に外国に住んでいる人に協力してもらうよりは実効性があると思い、そこは評価できると思います。精度については、質疑応答からは不安が残り、中程度の評価にしましたが、この事業者を採用で構わないと思います。
D委員	区との協調性というところでは、それなりにコンタクトを取ろうと努力しているところがあったので、ある程度評価できると思いました。しかし、他の委員の質問に対して、「やり直しを考える」という発言が出ず、そこから先の一步が出てきませんでした。「お客様の満足を得られない限り任務完了ではない」と言っていましたが、そのために何をするのかというところが少し欠けていたので、精度に関する評価はやや低くしています。迅速性も普通だと感じました。全体として、意欲はありますが、何をやるのかよくわからない、というようなプレゼンテーションでした。
A委員	全体としては及第点でいいと思いました。ハングルの課題への対応に関しては、若干採点者を責めるような反応があったので、どうかと感じましたが、最終的には対話の姿勢が見られたので、こちらから言えばちゃんと返してくれるのかなというところで、良しと考えました。ただ、やはり精度については、他の項目と比べると普通ということで、少し低めにしています。
委員長	意欲は高いものを感じて、港区を大切に思っていることは伝わってきたので、事業者としては任せることができるのではないかと判断をしました。
委員長	全体的に皆さんからも及第点以上ということで、本選考委員会として事業者Aを事業候補者に決定してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
	3 その他 議題なし。
	閉会